

上越はつらつ元気塾 平成 26 年度の計画

塾長 渡邊 隆

昨年、平成 25 年度の元気塾は「鉄道が生み出した上越の力」をテーマに活動をしてまいりました。「鉄道」は運ぶという機能を持っています。ものを運ぶ、人を運ぶ、財を運ぶという「運ぶ」という機能は社会のもっとも基本的なものです。とくに 21 世紀には「情報を運ぶ」という新しい視点が入ってきています。今から 100 年程さかのぼった 1913 年には、北陸新幹線の全線が開通となり、その翌年 1914 年には頸城鉄道が開通したのです。こうしたイベントのおよそ 100 年後が今です。私たちのまわりの「鉄道ものがたり」に注目して上越の元気を探し試みた平成 25 年度でした。

プレゼミ（6 月 3 日開催）と本塾（11 月 18 日開催）から語られた「鉄道ものがたり」は、まさに上越の源にふれるものでした。

プレゼミでの杉田幸治さんの「くびき野縁旅鉄道の夜明け」は、頸城鉄道が懸命に家族の成長を支える労働力を財に変え、そして教育に変え、若者の成長を支えてきた大きな「力」であったことを見事に語ってくれました。

11 月 18 日に開催された塾では「軽便鉄道が運んだもの—創立 100 周年を迎えて—」を頸城自動車(株)社長の 大竹和夫さんから講義していただきました。この頸城鉄道は、山田辰治と大竹謙二という二人の偉人によって始められた「鉄道ベンチャー」であったこと、そして大正から昭和 100 年の間に変化、発展していった様子をしっかりと語っていただきました。講義から続くトークセッションを通して「物づくり」と「歴史」があることを感じました。山田、大竹氏の夢：「鉄道ベンチャー」の様子は花開き、東頸城の人々に希望を与え、生活を変えた。その歴史は今でも地元で「お宝を残す会」でしっかりと保有されています。今から 100 年前、信越本線に北陸本線がつながった直後にできた軽便鉄道が上越の交通インフラの基礎をつくり、私たちの街、上越の将来の形を作ってくれたのです。

昨年度の活動を通して多くのものを学びました。1909 年当時、田口（現在の妙高高原駅）にあった電気化学工業所（中部電力の前身）が関川水源の電源開発を行い、蔵々発電所という日本最初の揚水式発電所を建設したといえます。この関川水源の電源開発と中部電力の電気化学工業の発展により上越地域の発展が始まったのです。関川の上流から下流の直江津方向へ、そして日本海の手運に結びついているという時代が始まっています。この信越線沿いの電力開発の流れが上越の元気の源の一つであるに違いないのです。ここでフォーカスされた「電力」という力の魅力を今年度はしっかりと探ってみたいと思います。本年度の上越はつらつ元気塾は「電力から考える上越の元気」といたしました。どうか新年度の旅立ちにご期待ください。

上越はつらつ元気塾 プレゼミ

平成 26 年度テーマ「電力から考える上越の元気」

PROGRAM

17:40 開 会

話題提供者紹介

上越はつらつ元気塾 理事(上越教育大学教授)

石野 正彦

プレゼミ 「上越の電力開発と私たちの暮らし」

話題提供者／郷土史研究家・元公立高校長

西山 耕一さん

謝辞・今年度事業に向けて

上越はつらつ元気塾塾長(新潟県立看護大学 理事長・学長)

渡邊 隆

18:30 閉 会

○参加者数／35名

**地域の電力
歴史を学ぶ**
上越はつらつ元気塾



上越市のNPO法人・上越はつらつ元気塾(塾長・渡辺隆)と題して語ったII写真。刃降県立看護大学長(主催)の講演会が28日、上越教育大学の講義室で開かれた。市内の元高校校長で郷土史研究家の西山耕一さんが「上越の電力開発と私たちの暮らし」をテーマに語った。西山さんは、東北電力の前身である上越電力の技術者として手掛けた「池尻川揚水式発電所」(1934年建設)について解説。春の豊水期には湖に閘川の水をくみ上げ、夏の渇水期には湖の水を流して発電と農業の双方に利用していたとして「この仕組みは、1本の閘川を2本に利用するものだとたたえられていた」と語った。

国友の業績を「多くの特色ある発電所を残し、現存する工場や豊かな水田など、産業の基礎をつくってくれた」と強調した。

講演会には約40人が参加。上越市北本町1の太田剛さん(99)は「電力開発が産業やまちの発展に大きく関わっていることが分かり勉強になった」と話した。

(新潟日報 平成 26 年 5 月 31 日掲載)

見学会

見学会 1：中部電力㈱上越火力発電所

1990年に計画、2007年に着工、2014（平成26）年5月に全基の営業運転を開始した中部電力株式会社の上越火力発電所を訪ねました。LNGを燃料とし、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせて発電機を回す最新鋭の方式を採用。世界最大級のLNGタンカーが接岸できる栈橋も備えています。これからの電力を勉強しました。

- と き／7月22日(火)13：30～16：00
- ところ／中部電力㈱上越火力発電所
- 参加者数／44名



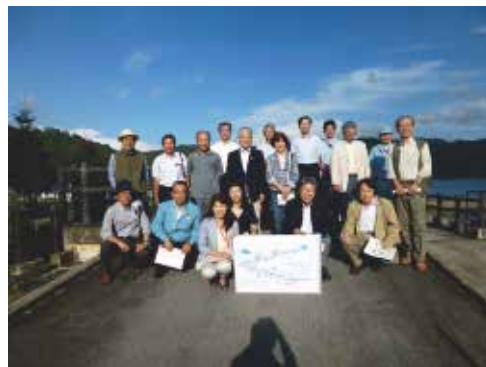
見学会 2：中部電力㈱上越火力発電所

東北電力 蔵々(ぞうぞう)発電所は、新潟県最古の発電所で明治40年に竣工し現在も稼動しています。

その後、昭和9年に東北電力の前身である上越電気の技師・国友末蔵氏が、野尻湖を活用して日本で最初の揚水式発電所「池尻川発電所」を建設しました。

以降、農村の電化が進み、日本一を誇る上越地方の農村電化を成し遂げ、関川沿いに信越線も敷設されました。蔵々発電所、野尻湖揚水所、板倉発電所の3か所を見学しました。

- と き／9月16日(火)13：30～17：00
- ところ／東北電力 蔵々発電所、野尻湖揚水所、板倉発電所
- 参加者数／19名





上越はつらつ元気塾

平成26年度テーマ「電力から考える上越の元気」

と き 11月6日(木) 18:00～20:30

と ころ 上越教育大学 学校教育実践研究センター

PROGRAM

◆開会挨拶 特定非営利活動法人 上越はつらつ元気塾 塾長(新潟県立看護大学 理事長・学長) 渡邊 隆

18:10～ シーン1 塾講義 「関川のもたらす恵みー電気事業の発展ー」

東北電力株式会社上越営業所長 **荒川 聡** さん

19:05～ シーン2 トークセッション「関川水力から探る上越の元気」

郷土史研究家・元公立高校長

西山 耕一 さん

農林水産省北陸農政局関川用水農業水利事業建設所所長

藤井 修 さん

東北電力株式会社高田技術センター制御所 所長

鈴木 浩 さん

コーディネーター：上越はつらつ元気塾 塾長

渡邊 隆

◆閉会挨拶 特定非営利活動法人 上越はつらつ元気塾 理事 (NPO 法人上越地域学校教育支援センター理事長) 小林 毅夫



電気師団設置の力に

上越はつらつ 元 気 塾 水力発電の歴史学ぶ



関川水系の水力発電をテーマにした上越はつらつ元気塾の講演会。6日、上越市西城町イ

上越市のNPO法人「上越はつらつ元気塾」主催の講演会が6日、同市の上越教育大学学校教育実践研究センターで開かれた。東北電力上越営業所の荒川聡所長が参加者約40人に、関川水系を利用した水力発電の歴史について話した。

荒川所長は、妙高山麓に「上越電気」が建設した蔵々発電所から1907（明治40）年、高田に電気が送られたことを挙げ「初めてこの地に文明の灯がともされた」とした。そのころ陸軍第13師団の誘致をめぐり、柏崎や新発田などと競ったが「電気会社が設立されていたことが大きな力となり、師団設置が高田に決まった」と強調した。

「そのころは相当な発電量であり、地域の産業発展に貢献してきた。今後は産業遺産として観光に活用できないか」と提案した。

北陸農政局関川用水農業水利事業建設所の藤井修所長は、上流で貯水し関川水系の各発電所で使

（新潟日報 上越かわらばん 平成 26 年 11 月 13 日掲載）

った水が農業用水として「農業者と電力事業者のある仕組みとなって生かされている点について、の双方にとってメリットがある」と話した。

「ウォーキング&健康づくり体験」

心と体の健康を目指し、ウォーキング&健康づくり体験を実施しました。新潟県中越地震10周年復興感謝キャンペーン・防災減災新潟プロジェクト2014として、新潟県元気大使の今井美穂さんを迎えて開催しました。体育館内での「健康づくり・災害食コーナー」も人気でした。

新潟県中越地震10周年復興感謝キャンペーン
防災・減災「新潟プロジェクト2014」
高田駅前400周年記念「上越防災駅」開催27年11月14日開催

上越市に於ける
スマートライフウォーク47
+1000
歩数目標

ウォーキング&健康づくり体験

参加無料!

ウォーキングは、今井美穂さんと一緒に歩きませんか？
歩いた人も、観望した人も、「健康づくり・災害食コーナー」で
健康寿命を延ばす体験ができます。親子大歓迎です。お友達にご参加ください。

2014年
11月8日(土) 雨天決行
10時～13時(受付9:30～)
会場／新潟県立看護大学 体育館

ウォーキング 2コース 2人が1組で参加

A 歴史を学ぶ「高田開府400年」コース 5km
50分コース 高田駅～高田公園～高田駅

B 災害に備え「体力アップ関川堤防」コース 10km
100分コース 高田駅～関川堤防～高田駅

健康づくり体験・災害食実演コーナー

【申し込み方法】
高田駅前400周年記念「上越防災駅」開催27年11月14日開催
高田駅前400周年記念「上越防災駅」開催27年11月14日開催
高田駅前400周年記念「上越防災駅」開催27年11月14日開催

主催／防災非営利活動法人上越はつらつ元気塾

深まる秋歩いて実感

上越 元気塾 モデル今井さん参加

上越市のNPO法人「ティアガイド」が公園内を
越はつらつ元気塾主催の「案内」10kmコースは関川
「ウォーキング&健康づくり体験」が8日、同市
の県立看護大で開かれた。対策格納倉庫を見学し
約200人が参加し、県元気大使の今井さんは10km
元気大使で地域活性化モースに同行した。
デルの今井美穂さんと一参加者は談笑しながら深
緒に秋晴れの関川敷など、まる秋の風景を眺め、思い
を吹き、心地よい汗を流し、思いのペースで歩いてい
た。親子3人で5kmコース
看護大を発着感に5分、に参加した同市本城町の公
10kmの2コースを護つた。務員沢田信子さんは
5分は高田公園までの往「モミジやイチョウがきれ
復コースで、観光ポラン
いに色づいていてよかつ



県元気大使の今井美穂さん（中央）と一緒に
関川敷をウォーキングする参加者たち。8
日、上越市

（新潟日報 平成26年11月9日掲載）